

学校・保護者・地域をつなぐ...

うてよびびけよ 鼓中通信

第6号

「来てよかった、明日も来たい」学校を目指して

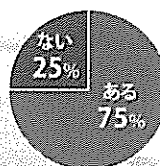
鈴鹿市立鼓ヶ浦中学校
☎059-386-5852

令和7年6月13日

☂ 梅雨入りしました…登下校にはゆとりをもって

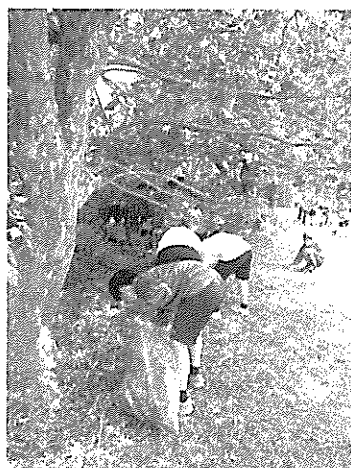
雨の中レインコートを着て頑張って自転車をこいでくる生徒の皆さん、お疲れ様です。括り付ける荷物にも気を使い、レインコートを着るのはもちろん、脱いだ後は乾かすために広げて干しておかなくてはなりません。部分的には身体や服も濡れていて、そのままエアコンに当たると冷えて体調を崩してしまうかもしれません。ぜひタオルや着替えのソックスなど持ってきてください。また、雨天時は視界も悪く、スピードを出してこぐことは危険です。慌てて時間ギリギリにやってくる人もいますので、せめて10分は早めに準備をして登校できるようにしましょう。

雨の日、自転車に乗っていて「ヒヤリ・ハット」した経験は？



調査対象：令和7年度1学期1年生・2年生・3年生
調査期間：令和7年6月10日～12日
調査人数：41名

「利他共生」他者に生かされ、他者を生かし、ともに生きる力



6月6日（金）の6限目に、延期されていた校内奉仕活動を行いました。5月の後半、保護者や地域のたくさんの方々に、刈り取っていただいていた草を集めたり、粗大ごみを運んだり、福祉委員会ではプランターの回収や花植えを行いました。この日はとても良いお天気で、生徒たちは汗をかきかき、担当になった場所の草集めや草抜きなど、教員と一緒に1時間ほど活動しました。



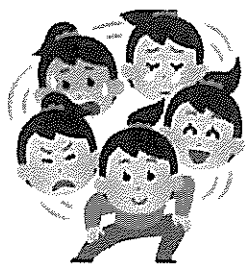
花を愛する福祉委員会による花植え

まだまだ草はありますが、自分たちの学校を自分たちの手で美しくするということはとても意義があると思います。自分の存在が人の役に立つ、みんなにとっていい効果をもたらす、また、みんなで同じことを行うことでスッキリとし、一体感が生まれるなんて素敵です。

また、今回の除草にあたっては、「卒業生です！チラシを見て学校が懐かしくなり、息子と夫と総出で草からせてもらいます！」と駆けつけていただいた方もいらっしゃいました。テニスコートのあたりは、いばらが広がり、生徒だけの除草は厳しいものがあります。「みんなの学校」という意識で、自分から楽しんで協力いただいたことを、大変ありがたく感じました。

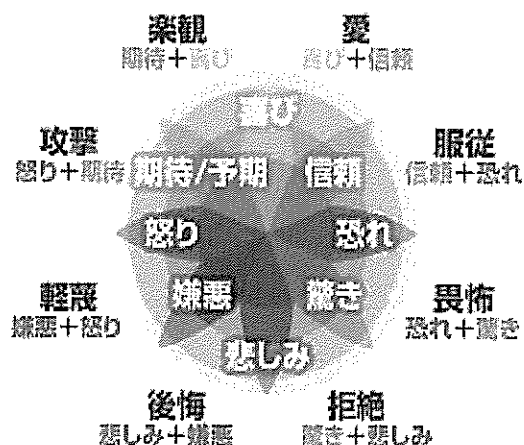


心のもやもやを整えていく力 感情リテラシー教育に注目！！



SNS の普及か環境の変化によるものか、自分の感情をうまくコントロールできる力がついていない生徒が多いことが気になります。例えば、カッとなって暴言や暴力をふるってしまうなど、中学校にあがってきたばかりの時点には特によく見られるトラブルですし、自分の気持ちがよくわからない、どんな風にみられているのか不安、本当の思いを上手に伝えられない…など、周囲への気遣いに疲れ、学校に行けなくなるということも少なくありません。幼いころから、自分の気持ちに焦点を当て、自分の心を見つめることができれば、またそれを言葉で表現することができれば、人との関わりや自分の気持ちの整え方、さらには、相手の気持ちを想像したり思いやりたりすることが自然にしやすいのではないのでしょうか。

感情リテラシーとは、自分の感情を理解し、表現し、管理する能力のことをいいます。具体的には、感情の種類、感情と行動の関係、感情の適切な表現方法などを学ぶことで、自己理解を深めるとともに他者理解を深め、より豊かな人間関係を築くための力が育成されるのではないかと考えます。図のように、攻撃してしまう怒りの感情の根底には、期待を裏切られた寂しい、悲しいなど、置いてきぼりにされた感情が隠れているようです。そこで、期待をするのは自分の勝手な思いだと割り切って考えることができれば、相手が悪いのではなく自分の気持ちの持ちようだと気づくかもしれません。実際は、感情に押し流されてしまう場合もあるでしょうが、落ち着いて自分の心を見つめていくことで次第に自分の気持ちのコントロールもできるようになることが期待されます。鼓ヶ浦中学校区では、小中を通して、このような力を幼い時期から育てようと考え、すすめていく予定です。



第1回 鼓ヶ浦海岸清掃活動 6月7日(土)

今年も海岸清掃の1回目の日がやってきました。地域の方々や小学生もたくさん参加してもらっていました。地元の宝は地元で守る！！ここは、日本で有数の白砂青松の名所です。



きれいになったよー



流木以外にも人工的なごみが多いことに気が付いた生徒もいました。大人になっても引き続き、美しい海岸をみんなの手で守り続けてほしいです。今回もおかげさまでとてもきれいになりました。